

平成 24 年度第 10 回（116 回）

清瀬市まちづくり委員会議事要旨

日 時：平成 25 年 4 月 25 日午後 3 時から

場 所：清瀬市役所 第 2 委員会室

出席者：伴貞男、戸塚弘、大森正子、織田祐輔、長縄宜幸、野島和季子、河原守、真田美那子、小川弥栄子、星野芙美子、原剛、菊池義昭、鈴木紀子、下嶋一義、青山茂昭、石津和幸

事務局：企画課長、市民協働係長、企画課主事

欠席者：金子裕輝、原田輝雄、齊藤しのぶ、赤石達樹

<配布資料>

- 1 平成 24 年度第 10 回（第 116 回）清瀬市まちづくり委員会次第
- 2 まちづくりフォーラムチラシ及び進行表(案)
- 3 まちづくりフォーラム配置図
- 4 5 月 1 日号市報掲載予定「第 10 回まちづくりフォーラムを開催」
- 5 まちづくり提案審議 進行表
- 6 平成 24 年度まちづくり委員会開催会場

1 開会

<事務局の人事異動に伴い、事務局職員の紹介を行った。また現在まちづくり委員会委員募集を行っており、5名の応募が来ている>

2 前回の確認

委員長：前回の会議の議事要旨を確認してもらいたい。

委 員：抜けている文字があるので訂正してもらいたい。

委員長：訂正する。前回の議事要旨について、よろしいか。

<承認>

委員長：では提案「柳瀬川（中里 6 丁目）に沈下橋の早期設置を」の回答について確認してもらいたい。

委員：文言を正す必要がある箇所がある。

委員長：訂正して次回確認してもらおう。次に提案「『一円玉募金』の実施とサロン活動への助成を」の回答について確認してもらいたい。

委員：この回答の内容では社協に協力要請をする必要がある。

委員：サロンは地域に必要である。

委員：この募金についてはサロン活動のPRも兼ねており、良い取り組みであると思う。

委員：仮に社協で募金を集めたとしても、社協が集めた募金は目的がしっかりしたものは使うことができない。

委員：社協の中で話し合ってみるようにしたい。

委員：今の話なら募金を二種類作る話である。

委員長：まずは社協に話をしてみる。次に市長への提言書について前回の修正したものを確認してもらいたい。この提言書でよろしいか。

<承認>

委員長：ではまちづくりフォーラムの当日について話し合っていきたいと思う。ポスターについてだが、委員の顔が写っているが何か問題はないのか。

委員：写っている委員の許可は得ているが、念のために目に黒消しを入れるようにしたい。

委員長：フォーラムの進行表について例年通りの流れで当日進行する。その他の提言の発表者や提案審議の回答を誰が担当をするか。また当日の時間配分はどうするか。

<フォーラムで当日発表する担当や当日の時間の配分を決めた。>

委員長：フォーラム終了後にそのまま会場でまちづくり委員会OBも交えて親睦会を設けたい。文面は私が作成する。また昨年度まちづくり委員会の審議に上がった大和田通信基地について、基地とのモニタリング進捗状況を市役所所管課より伺いたいので次回の会議で出席してもらいたい。

4 その他

次回は5月13日、市役所第2委員会室にて15時より行う。